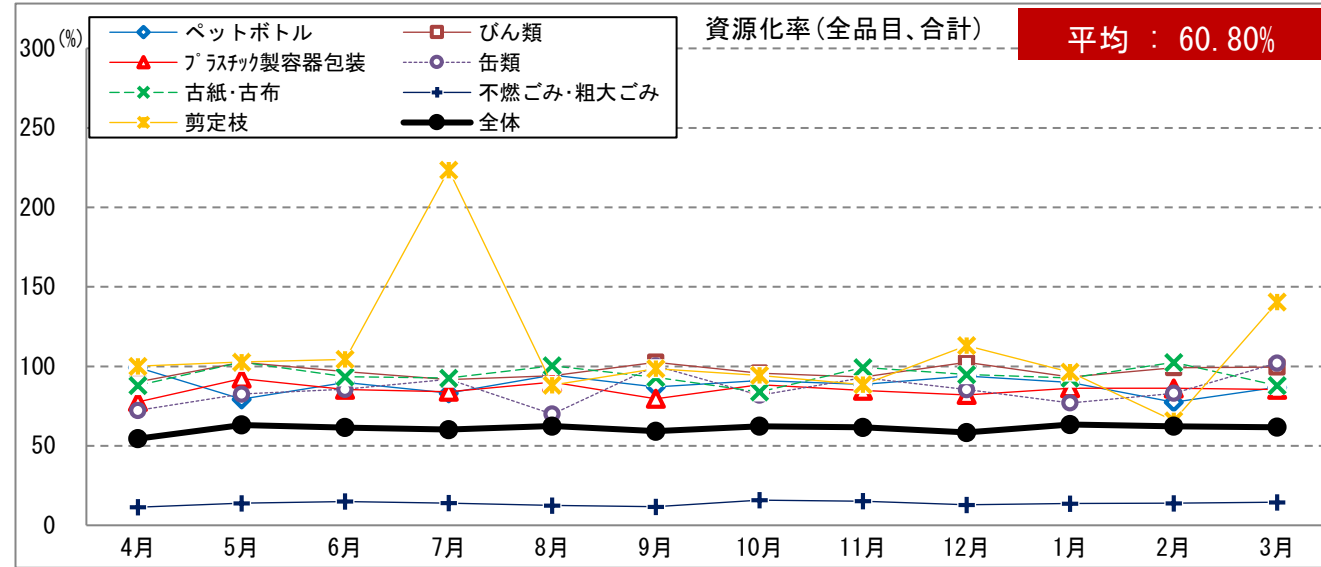


令和2年度(2020年度) リサイクルプラザ 内部モニタリング結果

1. 資源化



【評価】

- リサイクルプラザの資源化率は今年度 60.80%と、昨年度の 60.67%に引き続き 60%台を達成した。ペットボトルと缶類の資源化率が向上しており、市民啓発の効果が表れたものと考えられる。

【今後の方針】

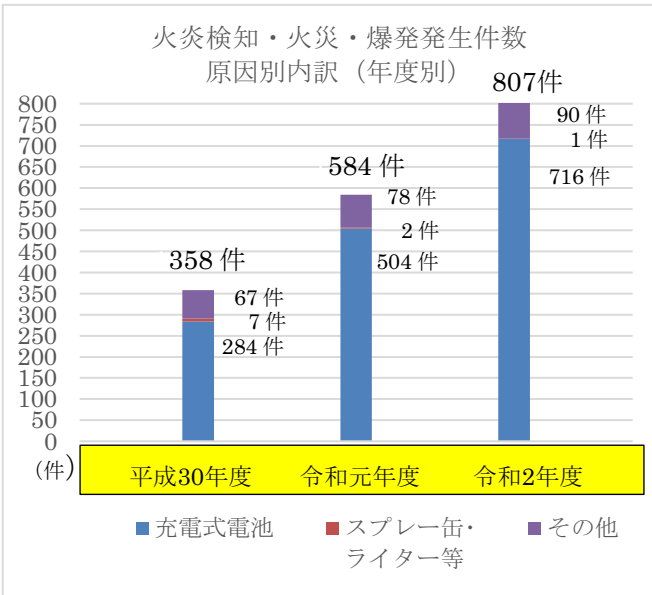
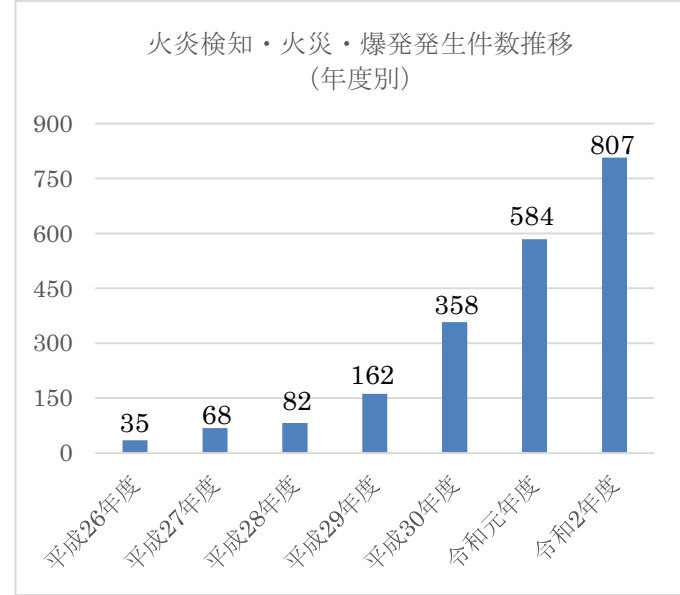
- 不燃ごみやプラスチック製容器包装の搬入物検査を継続実施し、両市と情報共有するとともに、その結果を基にした市民啓発を行い、資源化率の維持向上に努める。
- リサイクルプラザの稼働状況をモニタリングするとともに、運営業務受託者と情報共有を図り、施設の安定稼働を維持する。

《令和3年度(2021年度)における対応》

- プラスチック製容器包装に混入する充電式電池を内蔵する小型家電製品が増えている。引き続き両市と搬入物検査を実施し、不適正品目の混入低減に向けた啓発を行うとともに、資源化率の向上に努める。

2. 事故・故障

労働災害 : 0 件
 火災検知・火災・爆発(ごみ処理停止に至ったケース) : 807 件 (その他可燃搬送装置上等での発火件数 38 件)



【評価】

- 労働災害が発生しなかったことは、作業従事者への指導や保護具の効果的な着用などが適切であったものと考えられる。
- 消火設備増強工事の効果により、火災検知による施設への損傷低減と1件当たりの機器停止時間の縮減に繋がっている。

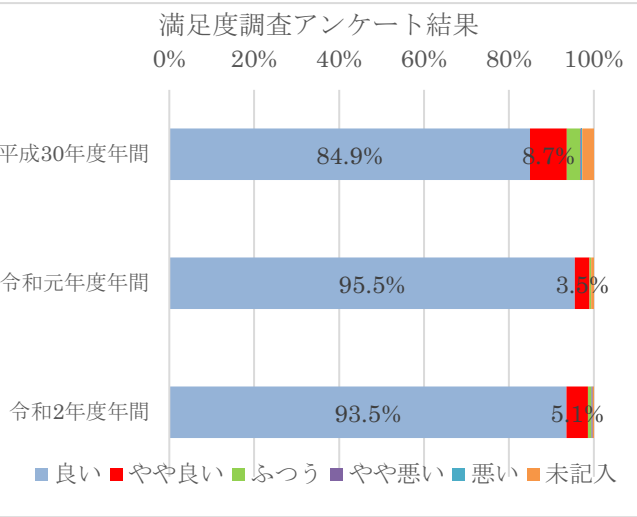
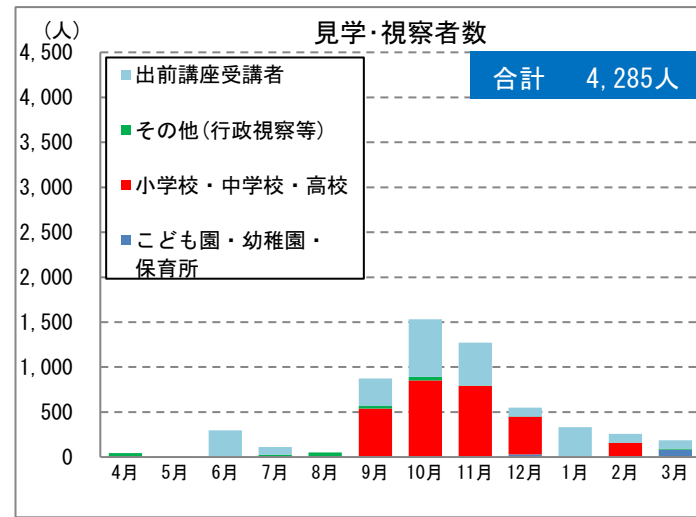
【今後の方針】

- プラスチック製容器包装への充電式電池類の混入量が増加傾向であることから、両市と情報共有し、混入防止に向けた市民啓発を継続する。
- 不燃・粗大ごみ破碎選別ラインでの火災検知件数が大幅に増加しており、施設の安定稼働のため、その影響を低減させる必要がある。

《令和3年度(2021年度)における対応》

- 手選別業務における労働災害ゼロを継続するため、受託者に対して保護具の検証や作業手順の徹底を引き続き指示する。
- 充電式電池を内蔵する小型家電製品の拠点回収について協働して啓発し、リサイクルプラザの火災検知件数低減を図るとともに、更なる消火設備増強工事を検討するなど、施設の安定稼働を維持する。

3. 環境学習・啓発



【評価】

- 新型コロナウイルス感染症防止対策により、社会科見学や出前講座のキャンセルや施設見学を休止した他、展望フロア一般開放デーなど、予定していたイベントが中止や延期となったことから、前年度と比較して来場者が減少した。
- 来場者の満足度調査アンケートでは、概ね良いとの評価を得た。

【今後の方針】

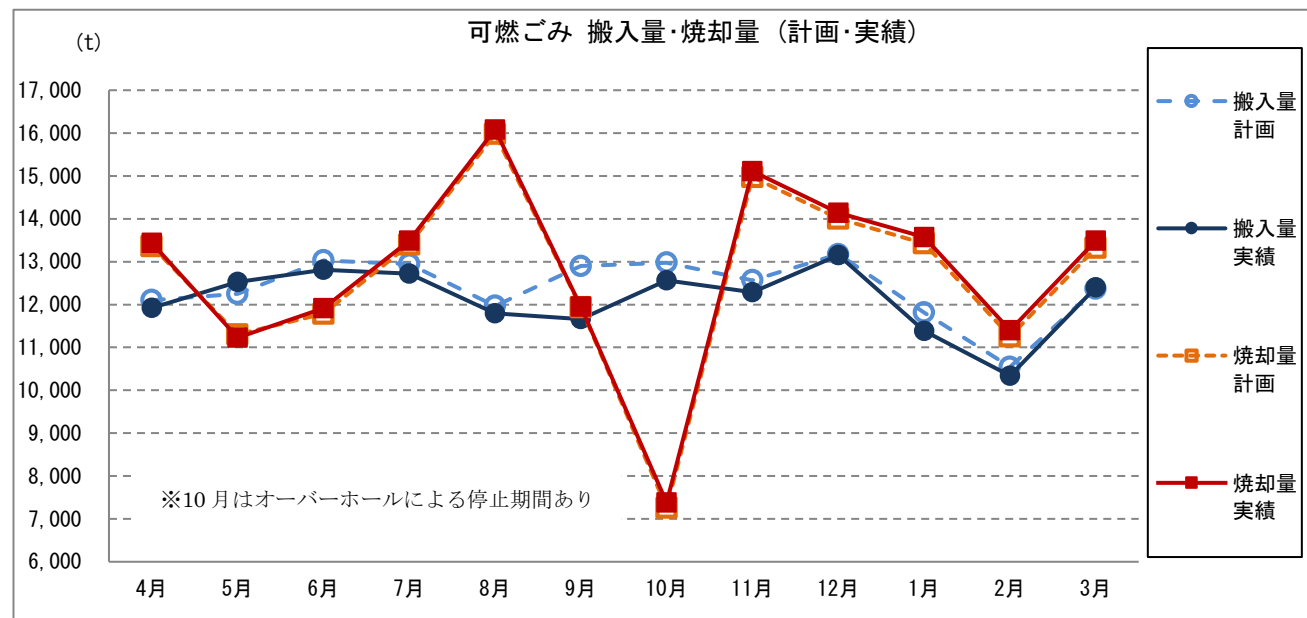
- 緊急事態宣言の発令や期間、感染症拡大の状況を注視し、施設見学業務をはじめ、展望フロア一般開放デーなどのイベントの開催について、感染症拡大防止対策を講じながら実施できるか否か慎重に検討し準備する。
- リサイクルプラザとごみ焼却施設、クリーンランドひろばを合わせた一体的な環境学習メニューを企画し、来場者の増員に努める。

《令和3年度(2021年度)における対応》

- 引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を注視し、施設見学やイベントの安全な開催について検討し準備する。
- リサイクルプラザと焼却施設、クリーンランドひろばを合わせた効果的な環境学習メニューを企画・実施することにより、来場者の増員を図る。

令和2年度(2020年度) ゴミ焼却施設 内部モニタリング結果

1. ゴミ焼却施設



【評価】

- 搬入量は、コロナ禍の影響を受け計画値を大きく下回ることがあり、年間の搬入量については、計画値の約98%となった。また、焼却量は、搬入量の減少に伴い運転計画の変更を行ったことにより、概ね計画どおりに焼却できていることから、安定的な運転管理ができています。
- コロナ禍によるゴミ質の大きな変化がありましたが、運転操作による設定変更と運転計画の変更により、安定稼働ができました。
- 4月にゴミピットの堆積量の誤差の修正を行い、5月以降の運転計画に反映させ、安定稼働ができました。

【今後の方針】

- ゴミの組成の変化や焼却時の発熱量の推移を確認していくとともに、焼却施設の安定稼働に向けて、適切な維持管理と運転管理を実施する。
- 引き続きゴミピットの堆積量の少ないときに誤差の修正を行い、ピットの状態を適切に管理することで、施設の安定稼働につなげる。

《令和3年度(2021年度)における対応》

- 焼却量については、コロナ禍の影響により、実績搬入量が計画搬入量に対し増減することや、搬入ゴミの高カロリー化の影響で焼却量が低下することが考えられることから、焼却量については、状況に応じて年度途中で運転計画の変更を行う可能性がある。引き続き状況に応じて運転計画の見直しを行い安定的な運転管理に努める。
- ゴミの搬入量の増減についてもコロナ禍の影響を考慮し、定期的にごみピットの堆積量が少ないときに堆積量の誤差の修正を行い、以後の運転計画に反映させる。

2. 環境

(排ガス)

項目	測定値	基準値	
		自主	法定
ばいじん (g/N m ³)	≤0.001~0.002	0.01	0.04
塩化水素 (ppm)	<0.4~0.5	10	約430
硫酸化物 (ppm)	<0.5~0.6	10	110
窒素酸化物 (ppm)	7~26	30	250
ダイオキシン類濃度 (ng-TEQ/m ³)	0.000020~0.000057	0.05	0.10

(排水)

項目	測定値(平均値)				基準値
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
総水銀含有量 (mg/l)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.005
鉛 (mg/l)	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.1
亜鉛 (mg/l)	0.4	0.3	0.3	0.4	2
ダイオキシン類濃度 (pg-TEQ/L)	(6月9日)0.0014				10

【評価】

- 適正で計画的な維持管理の実施により、全ての項目において基準値を満たしており、適切に管理ができています。

【今後の方針】

- 引き続き各測定項目が基準値を満たす値となるよう、適切な施設の維持管理と運転に努める。

《令和3年度(2021年度)における対応》

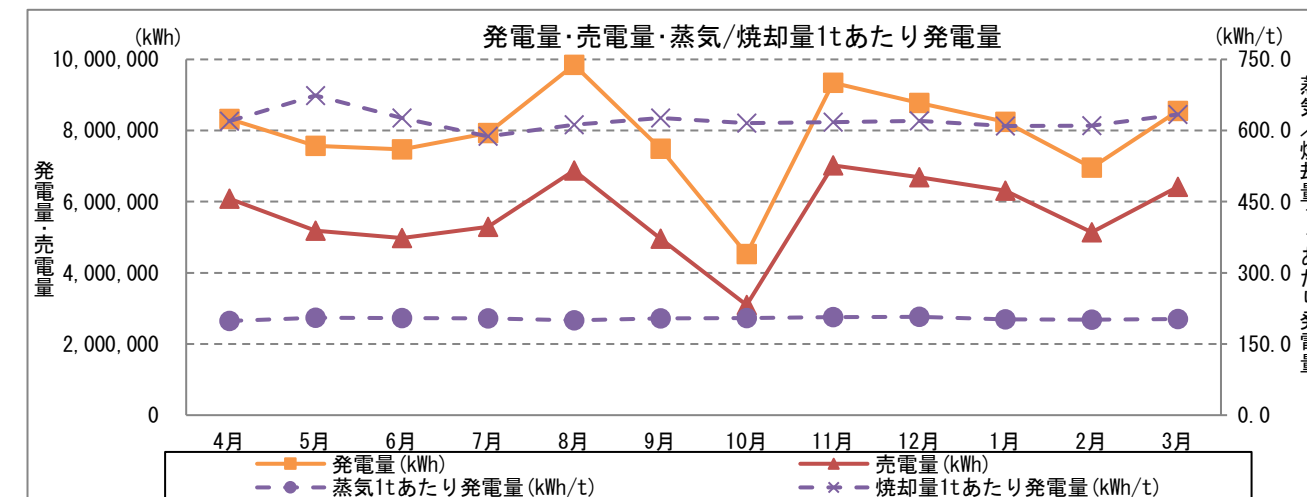
- 排ガス・排水などの全ての項目において、年間を通して基準値を満たせるよう測定値の推移を確認し、適正な維持管理と運転に努める。

3. 事故・故障

労働災害：1件 腐食固着しているボルトをタガネとハンマーで切断作業中に誤ってタガネを持っていた左手親指をハンマーで打ちつけ左母指末節骨折

設備・機器故障(焼却炉の停止に至ったケース)：0件

4. 資源化



【評価】

- 令和2年度において、定常外作業時での労働災害が1件発生した。

【今後の方針】

- 全職員に労働災害の発生事案とその対策について周知徹底するとともに、再発防止に向けた取り組みと安全意識の向上に努める。
- 各種設備・機器の適正かつ計画的な予防保全に努める。

《令和3年度(2021年度)における対応》

- 定常外作業時に労働災害が発生しているため、再度作業前のミーティングで作業に潜む危険予知とその対策を行い、作業者全員で確認してから作業を行う。
- 日常点検や補修記録などからのデータを基に各種設備・機器の予防保全に努める。

【評価】

- 年間を通じて蒸気1t当たりの発電量は高い値を維持できており、安定的、効率的な施設の稼働ができました。

【今後の方針】

- 引き続き高効率な発電設備の活用により、安定的な発電の確保に努める。

《令和3年度(2021年度)における対応》

- 引き続き、この間の蓄積したデータ等を踏まえ、安定的、効率的な施設の稼働と高効率で安定した発電量も確保できるように年間の運転計画の作成に取り組む。